

夢なき者に成功なし ～令和2年度新入生説明会～

(学校長式辞から抜粋)

ただいま入学を許可いたしました二百三十八名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんを三木高等学校第七十五期生として迎えられることを、本校職員並びに在校生一同、本当にうれしく思います。

皆さんは、本日、兵庫県立三木高等学校の生徒として入学が認められました。

これは、皆さん一人一人の努力の成果であることは勿論ですが、同時にご家族の皆さんや中学校の先生方の励ましや支援があったからです。感謝の気持ちを忘れることなく、新しい高校生活に全力で取り組んでください。

本校は、地域を代表する伝統校として、地域や社会に貢献できる人材を育成する特色ある教育活動を行っています。また、グローバル教育の拠点校として、オーストラリアのワナル一高校、フランスのクロミエ総合高校、そしてアメリカのセリトス高校の生徒と交流を行うなど、多様な学びの機会をとおして、視野を広げ、個性を伸ばし、それぞれの夢に向かって志高く、力強く突き進んでくれることを願っています。

そこで、これから三年間の充実した高校生活をスタートするために、本校の校訓である「自主・協同・創造」のもと、次の三つのことを実行してほしいと思います。

①「自主的に行動することで自分の持つ可能性を伸ばしてほしい」

皆さんは若く、無限の可能性を秘めています。しかし、可能性は、自らの努力なくしては現実とはなりません。積極的に自分の良いところを伸ばして行ってください。

ほかの人やまわりの人が何かしてくれるのを待っていても何も始まりません。まず自分から行動しないといけません。学習や部活動など学校生活に自主的に取り組むことで、自分の可能性を伸ばし、将来の夢や希望の実現につなげてください。

②「温かい心と強い心を持ってほしい」

本校の校訓である「協同」とは、「一つのことを一緒に成し遂げるために、互いに力と心を合わせる」という意味です。相手の意見や立場を理解し、お互いに尊重し、助け合いながら仲間と切磋琢磨し共に成長して行ってください。

高校時代は一生の中でもっとも充実し光り輝いている時期ではありますが、これからの自分の生き方を懸命に追い求める中で、人生や進路、友情等について深く考え、時には迷い、悩む時期でもあります。そんなときにも、くじけない強い心を持ち、互いに助け合い、励まし合えるような、思いやりのある、温かく力強い人間として成長してほしいと思います。

③「何かに挑戦してほしい」

「挑戦」なくして「創造」はあり得ません。ちょっと難しいと感じたら、「どうせ無理」と言い訳をして、簡単に自分の限界を決めてしまわずに、つねに挑戦する気持ちを持ち続けてください。人は経験から学びます。中でも失敗の経験からより多くのことを学びます。成功するためには、その途中で失敗やミスをすることも必要です。ミスすることを恐れたり、恥ずかしがったりして何もしない人に、「成功」も「創造」もありません。失敗やミスは必ず次の成功につながっています。ミスをしない人は、何もしない人であり成功しない人、新しい価値をつくりだすことのできない人だと思えます。

保護者の皆さまに一言ご挨拶申し上げます。本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。私たち教職員は、お子様が、自らの生きる道を、自らが切り開いていけるよう、全力を尽くしてまいります。子どもたちの健全な成長を望み、豊かな個性を育てていくためには、学校と家庭がそれぞれの役割を果たしながらも、相互に補完し合い、連携を密にすることが重要と存じます。どうか、本校の教育方針をご理解いただき、ご支援とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

さて、新入生の皆さん、新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業の中で高校生活がスタートすることになってしまいました。通常通りの授業はまだ実施できませんが、代わりにたくさんの時間があります。高校生活のスタートに当たって、ぜひ将来の夢や希望について考えてみてください。

明治維新で活躍した吉田松陰の言葉を贈ります。「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。」

皆さん一人一人が、将来の夢や希望に向かって、充実した高校生活を送れますことを心より願ひまして、式辞とします。

令和二年四月八日

兵庫県立三木高等学校
校長 高橋 信之